

# 第11回 口腔機能って何だろう？

＝ 「口腔機能」は、栄養摂取や免疫等に関する ＝

北九州在宅医療・介護塾  
塾長 久保 哲郎

前回までは、「口腔機能」と脳神経系機能についてご紹介させて頂きましたが、今からは消化器系機能との関係についてご紹介したいと思います。

まず、「消化器系」は消化管と付属器から構成され、消化管は口腔～咽頭～食道～胃～小腸（十二指腸～空腸～回腸）～大腸（盲腸～結腸～直腸）～肛門からなる全長約9mの1本の管をいいますが、解剖学的には、管壁を構成している筋肉は平滑筋、神経支配は迷走神経（第X脳神経）で、付属器は歯、舌、唾液腺、肝臓、胆嚢、膵臓などからなります。

また、消化器系は、①水を飲み、食べ物を食べ、②食べた食べ物を栄養素に分解（消化）し、③栄養素を血液中に吸収し、④消化できない残りカス（残渣）を排泄するという一連の消化・吸収機能の他に、⑤腸管免疫機能等を有しています。

ところで、バクテリアルトランスロケーション

ションについてご存じでしょうか？

これは、長期にわたって静脈栄養のみで栄養状態を管理していると、つまり“消化管”を使用しない“絶食”状態が続くと、消化管粘膜（絨毛等）は劣化・脱落が生じ、消化管壁（粘膜下組織や筋層等）の脆弱化によって腸内細菌やその毒素が血液中・リンパ組織中へ移行することをいいますが、敗血症用症状を起こす原因の一つになるといわれています。

このことを踏まえて、腸管粘膜からの栄養摂取、消化器系機能や腸管粘膜免疫機能等を維持するためには、経静脈、経腸や胃ろう（PEG）からではなく、解剖学的、そして生理学的消化機能を有し、さらには感動や情動を伴う経口摂取を選択すべきで、このことが褥瘡や誤嚥性肺炎等の感染症の減少や、リハビリ効果の向上に繋がり、さらなる早期離床を可能にするといわれています。

